

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成20年11月13日 (2008.11.13)

【公開番号】特開2002-167585(P2002-167585A)

【公開日】平成14年6月11日 (2002.6.11)

【出願番号】特願2001-301434(P2001-301434)

【国際特許分類】

C 1 0 L 1/18 (2006.01)

C 1 0 L 1/192 (2006.01)

C 0 8 K 5/09 (2006.01)

C 0 8 L 35/00 (2006.01)

【F I】

C 1 0 L 1/18 Z

C 1 0 L 1/18 A

C 0 8 K 5/09

C 0 8 L 35/00

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月26日 (2008.9.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

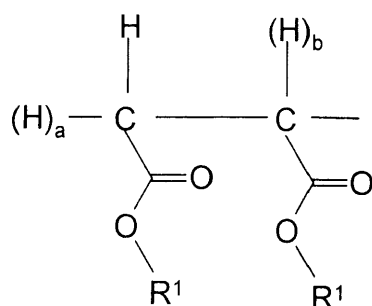
【特許請求の範囲】

【請求項 1】 A) A 1) 6 ~ 50 個の炭素原子を有する少なくとも一つの飽和モノまたはジカルボン酸を 1 ~ 99 重量%、および

A 2) 6 ~ 50 個の炭素原子を有する少なくとも一つの不飽和モノまたはジカルボン酸を 1 ~ 99 重量%含む 10 ~ 99.99 重量%の脂肪酸混合物と、

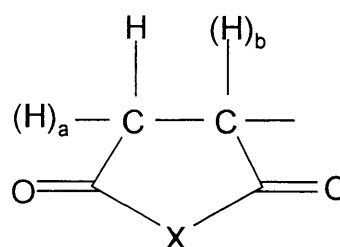
B) B 1) 式：

【化 1】



B1 a)

または

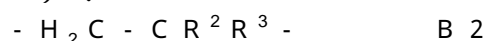


B1 b)

(式中、X は、O または N - R¹ であり、a および b は、0 または 1 であり、a + b は、1 である)

の二価構造単位を 40 ~ 60 mol %、および

B 2) 式：



の二価構造単位又は 10 ~ 40 個の炭素原子を有する - オレフィンから誘導される二価構造単位を 60 ~ 40 mol %、および所望ならば、

B 3) ポリオレフィンから誘導される (この場合、ポリオレフィンは、3 ~ 5 個の炭素

原子を有するモノオレフィンから誘導することができる) 二価構造単位を 0 ~ 20 mol %を含み、
 式中の、

a) R^1 は 10 ~ 40 個の炭素原子を有するアルキルまたはアルケニル基、またはアルキル基中に 1 ~ 100 個のアルコキシ単位および 1 ~ 30 個の炭素原子を有するアルコシアルキルであり、

b) R^3 は、式 $OCOR^4$ または $COOR^4$ (式中、 R^4 は、 $C_1 \sim C_{24}$ アルキルである) の基であり、

c) 構造単位 B3) に基づくポリオレフィン分子中の炭素原子数が、35 ~ 350 であり、および

d) R^2 は、水素またはメチルである、0.01 ~ 90 重量%のコポリマーを含む、低温安定化脂肪酸混合物。

【請求項 2】 成分 A が 12 ~ 22 個の炭素原子を有するカルボン酸を含む、請求項 1 に記載の低温安定化脂肪酸混合物。

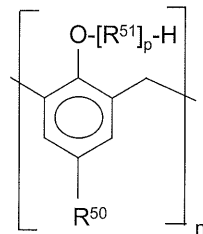
【請求項 3】 1 から 20 重量%未満までの A1) および 80 を超えて 99 重量%までの A2) を含む、請求項 1 または 2 に記載の低温安定化脂肪酸混合物。

【請求項 4】 A1) と A2) の混合物が少なくとも 40 g の I / 100 g のヨウ素価を有する、請求項 1 から 3 のいずれか 1 つに記載の低温安定化脂肪酸混合物。

【請求項 5】 A1) と A2) の混合物が 1 ~ 40 重量%の樹脂酸を含む、請求項 1 から 4 のいずれか 1 つに記載の低温安定化脂肪酸混合物。

【請求項 6】 以下の式

【化 2】



[式中、 R^{50} は、 $C_4 \sim C_{50}$ - アルキルであり、 R^{51} は、エトキシおよび / またはプロポキシであり、 n は、5 ~ 100 の数であり、 p は、0 ~ 50 の数である。]

で表されるアルキルフェノール - ホルムアルデヒド樹脂を含有しており、脂肪酸混合物と該樹脂との混合比が 1 : 20 ~ 20 : 1 である、請求項 1 ~ 5 のいずれか一つに記載の低温安定化脂肪酸混合物。

【請求項 7】 有機溶媒中の請求項 1 から 6 のいずれか 1 つに記載の物質の低温安定化溶液であって、前記溶液が 1 ~ 80 重量%の前記溶媒を含む、低温安定化溶液。

【請求項 8】 使用される溶媒が脂肪族および / または芳香族および / または酸素含有炭化水素である、請求項 7 に記載の低温安定化溶液。

【請求項 9】 中間留分に加えて、0.05 重量%以下の硫黄含量、請求項 1 から 8 のいずれか 1 つに記載の添加剤を含む燃料油。

【請求項 10】 0.05 重量%以下の硫黄含量を有する低硫黄中間留分の潤滑性を改善するための、請求項 1 から 8 の一項以上に記載の添加剤の使用。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

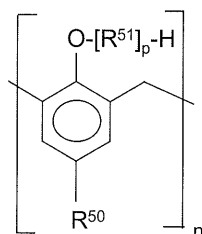
【補正対象項目名】0040

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0040】

【化 4】



(式中、 R^{50} は、 $\text{C}_4 \sim \text{C}_{50}$ -アルキルまたは-アルケニルであり、 R^{51} は、エトキシおよび/またはプロポキシであり、 n は、 $5 \sim 100$ の数であり、 p は、 $0 \sim 50$ の数である)

のアルキルフェノール-ホルムアルデヒド樹脂がある。